

業務委託入札実施要領

一般財団法人大阪市文化財協会

1 入札参加資格

- (1) 令和4・5・6年度大阪市入札参加有資格者名簿に当該案件に応じた種目で登録されていること。
- (2) 当該案件の入札書提出日から開札日までに大阪市の入札参加資格取得にかかる登録を完了している者であること。
- (3) 公告文に定める入札参加資格をすべて満たすものであること。
- (4) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (5) 入札書提出日において、大阪市競争入札参加停止措置要綱に基づく停止措置を受けていないこと。
- (6) 入札書提出日において、大阪市契約関係暴力団排除措置要綱に基づく入札等除外措置を受けていないこと及び同要綱別表に掲げるいずれの措置要件にも該当しないこと。
- (7) 入札参加資格の有無は、基準日を別に定める場合を除き開札日現在による。
- (8) 入札参加資格の審査は、開札後に資格を確認する必要があると認められる者について行い、その他の者については行わない。
- (9) 一般財団法人大阪市文化財協会の指定する期限までに、公告文に定める入札参加申請書類（以下「参加申請書類」という。）を提出できること。

2 入札参加手続等

- (1) 入札書の提出等の手続きは、必ず「一般書留」又は「簡易書留」のどちらかによる方法で、入札書提出期限までに指定された提出場所へ提出すること。
- (2) 入札書提出後の辞退は認めない。
- (3) 仕様書等の取得方法はホームページよりダウンロードする。
- (4) 仕様書等に対する質問、回答の日時、方法について公告文に定める。

3 入札の準備

- (1) 見積りに当たっては、入札要領・図面・仕様書及び関係書類により、適正な積算を行い、その金額に基づいて入札を行うこと。

4 入札書の記入、押印

- (1) 当協会所定の様式を使用すること。
- (2) ボールペン又はペンで記入すること。
- (3) 年月日は、入札の実施年月日を記入すること。
- (4) 住所、会社名、代表者名等は業務委託契約を締結する受託事業者と同一とし、届け出た使用印鑑を必ず押印すること。
- (5) 入札金額は、総価で、1枠に1字ずつ「1、2、3……」と記入すること。
- (6) 訂正する場合は、誤記部分に「＝」を引き、押印し、正しく書き直すこと。金額欄の場合は、誤った数字だけでなく、金額全てに「＝」を引き、押印すること。
- (7) 入札書の記載は総価で、消費税抜きの金額を記入すること。

5 入札の方法

- (1) 入札書の提出期間及び開札日時・場所は公告文に定める。
- (2) 入札参加者がいない場合は、当該入札を取りやめる。
- (3) 入札書の書替え、引替え、又は撤回はできない。
- (4) 再度入札を行うことがある。

6 入札の中止等

不正な入札が行われるおそれがあると認めるとき、又は、災害その他やむをえない理由があるときは、入札を中止し、又は入札期日を延期することがある。

7 開札

(1) 開札は、入札の終了後、直ちに当該入札の場所において行う。

9 入札の無効

次の場合に該当したときは、無効となるので注意すること。

- 入札参加資格がない者のした入札、又は書面による確認を受けない代理人がした入札
- 指定の日時に提出されなかった入札
- 入札者の記名押印のない入札
- 当協会が交付した入札書を用いないでした入札
- 同一入札について、入札者又はその代理人が2以上の入札をしたときはその全部の入札
- 同一入札について、入札者及びその代理人がそれぞれ入札をしたときはその双方の入札
- 同一入札について、他の入札者の代理人を兼ね又は2人以上の代理人として入札をしたときはその全部の入札
- 入札金額又は入札者の氏名その他主要部分が識別しがたい入札
- 訂正印のない金額の訂正、削除、挿入等による入札
- 再度の入札については、前回最低入札価格以上の価格でした入札
- その他入札に関する条件に違反した入札

10 落札者の決定

(1) 入札を行った者のうち、予定価格以内で入札したもののうち最低の価格で入札した者を落札者とする。

11 契約書等の提出

- (1) 入札参加者は、「単価表」を提出すること。
- (2) 落札者は、当協会が交付する契約書に記名押印し、指定する期限までに提出すること。
- (3) 落札者が正当な理由なく、当協会が指定する期限までに契約書を提出しないときは、落札はその効力を失うことがある。この場合は、一定期間入札に参加できないことになる。

12 異議の申立て

入札をした者は、入札後、異議を申し立てることは一切できない。